

昭和大学江東豊洲病院において

体外受精（ART）治療を開始しました。

豊洲地区で待望の生殖補助医療を開始

少子化対策として菅内閣の肝いりの政策「生殖補助医療の保険診療」が、令和4年4月に開始されました。昭和大学は遡ること令和元年より江東豊洲病院において一般不妊の治療を開始しており、また豊洲地区での不妊治療希望の方の要望にこたえるべく、生殖補助医療開設のための準備を進めていました。



去る令和6年1月9日、体外受精を取り扱う生殖医療外来を開始するに至りました。これまで、一般不妊、人工授精で妊娠されなかった患者様はステップアップとして体外受精による不妊治療という選択肢が増えました。体外受精は体の外に取り出した卵子を夫の精子と受精させ、子宮内に移植することで妊娠を成立させる治療です。排卵誘発で卵胞を育て、採卵で卵子を獲得し、体外受精で精子と受精させ、あるいは顕微授精を行って受精させられた受精卵を培養し、そのまま子宮内に移植する場合と、一旦凍結保存する方法、これは液体窒素の中に保存しますが、別の移植周期に胚を融解して子宮内に移植するやり方があります。卵管性不妊、一般不妊や人工授精で妊娠できなかった方が対象となります。40歳未満の方は移植で6回まで、43歳未満の方は移植で3回まで保険診療の対象です。保険診療で実施できる生殖補助医療は対象が決まっています。それ以外の保険が認められない医療は、自費となります。また、混合診療は認められていません。ただし先進医療とされるものが、保険診療と同時に実施することができます。当院ではタイムラプスインキュベーターによる胚培養、生理学的フィルターによる精子選別法等を先進医療として実施しています。また静脈麻酔での採卵にも対応していますので採卵に不安のある方はご相談ください。

当院は日本産婦人科学会の体外受精登録施設です。

東京都認定の周産期センターを有する大学病院（総合病院）としての強みを生かし、妊娠から出産にいたるまでのトータルなサポートが提供できるよう、努力してまいります。どうぞご利用ください。

産婦人科 診療責任者

大槻 克文（おおつき かつふみ）

教授/副院長

<卒業大学>

昭和大学（1991年卒）

<専門>

産婦人科学（周産期学）



出生前検査認証医療機関と認定されました



NIPT（母体血を用いた出生前遺伝学的検査）は2014年4月から日本で開始された新型出生前検査です。同年3月に日本産科婦人科学会が「母体血を用いた新しい出生前遺伝学的検査指針」を公表し、それを受けて厚生労働省母子保健課が検査の指針等を通知しました。これらに従って妊婦さんご夫婦に適切な遺伝カウンセリングを行い、検査についてきちんと理解したうえで同検査を実施する体制とし、日本全国の認定施設において開始され今日に至ります。この指針の中では、遺伝学的な知識を有する専門医が在籍し、遺伝カウンセリング可能と認定を受けた施設で慎重に行われるべき検査とされており、当院はその施設認定を受けこれまで多くのカウンセリング、出生前検査を実施してきました。2022年からは新たに設立された出生前検査認証制度等運営委員会において認証医療機関（基幹施設）と認定されました。今後も地域の中核として出生前診断に携わって参ります。

医療機関から緊急のご紹介いただく場合は



地域医療連携室までお電話ください

TEL：03-6204-6130 受付時間：8：00～17：00

※毎日（11/15・年末年始を除く）

患者さんからのご予約は予約センターをご利用ください。（予約取得・変更・キャンセル）

TEL：03-6204-6489

平日 8：30～17：00 土曜日 8：30～12：30 ※日曜日・11/15・年末年始は対応していません。



**昭和大学
江東豊洲病院**

《当院の特徴》

- ① **土日祝日も診療**（一部の科除く）
- ② 初診は**14：00まで受付**

〒135-8577 東京都江東区豊洲5-1-38 TEL 03-6204-6000（代）

